



重富小学校 学校便り

剣の平

令和6年度 6月号
創立136周年

(重富小HPアドレス)
<http://www12.synapse.ne.jp/sigetomisyo/>

学校
教育
目標

「剣の平」に誓う
光り輝く重富の子

学校キャッチフレーズ

Well-beingな学校

感謝の気持ちと小さな勇気



校長 平 千力

先月、6年生と修学旅行に行ってきました。その際、6年生の相手への感謝の気持ちが現れた場面がありました。ホテルでの食事が終わった際、種類毎に食器を重ねて並べているのです。一つのグループだけかと思ったら、ほとんどのグループが同じようにできていました。

ホテルの方への感謝の気持ちが伝わって、とても温かい気持ちになりました。心優しい6年生です。



私は、5年程前に交通事故により40日余り入院した経験があります。そのときの出来事です。今でもよく思い出します。

ある方の行動を見て見習わなければと思うことがありました。その方は同じ病室の方でしたが、「家族や自分の御世話をしてくれる人に何かしてもらったら、必ず先に『ありがとう』とお礼を言う」、「食事が終わったら自分の食器は自分で片付ける」、「食事を片付けるとき、『〇〇がおいしかったよ。』と言う」、「一人でぼつんとしている人がいたら必ず声をかける」こんなことです。これって、当たり前のことですが、自分はできていないなと反省しながらいつも見ていました。

これは、小さな勇気がないとできないことだと思いました。もちろんどんな苦難でも乗り切れる大きな勇気も必要です。でも、私は、当たり前のことを当たり前に言える(できる)小さな勇気をたくさんもちたいと思いました。

そして、相手に感謝することが大事だと思いました。感謝したいと思っても、いざ感謝の気持ちを言葉や行動で表すのはなかなか難しいものです。それにはやはり小さな勇気が必要です。お友達へ、両親へ、奥様へ、旦那様へ、お爺さまへ、お婆さまへ、兄弟へ、弟妹へ、そして我が子へ、自分の周りの全ての方へ感謝する・・・。

私は、これができるようになるには、常に相手への感謝の気持ちをもって、日常の中であらゆる物事に感謝し続けることが大切だと思います。そして、身近なことに心を込めて取り組むことが大切だと思います。靴をそろえる、食器を片付ける、ゴミを捨てる、あいさつをする・・・。一日の中で、できるだけ多くの感謝をし続け、心を込めて行動することができれば感謝の「筋肉」ができてくるんじゃないかと思います。「筋肉」のようにいつも動かし、大きくすることが大切だと思います。そして、小さな勇気を育てていくことが大切だと思います。

6年生の修学旅行での「感謝の気持ち」にふれ、入院したときに出会った同じ病室の方の行動が重なり、感謝の気持ちをもつことと、小さな勇気をもつことの大切さを思い出したところでした。